

11月から

外出支援 相乗り可能に！

クローバーだより

2023年 11月号

これまでの制度では同じ時間帯に、同じ目的地に行くのに他の方と相乗りができず、たとえ家がお隣同士であったとしても、お一人ずつ車を出し、迎えに行かなければなりませんでした。

近年、遠方への利用も増えており、一回の移動距離も長いという地域事情を踏まえ、11月1日から相乗りによる送迎が認められることになりました。

今後は利用者同士の同意が得られれば、相乗りが可能になります。

現状、病院受診で午前中の利用が多く、特に9時～11時頃の時間帯は利用が集中し、運転員の確保に苦慮しています。ご利用の方にも時間調整をお願いしながら何とか対応しておりますが、混雑時には利用をお断りしたり、受診日を変更していただくことも少なからずありました。

利用者からも「同じところから帰るのに、一緒に乗れへんのかいな？」という声も聞いていたのですが、それがようやく可能となりました。

▶あくまで同意のもとでの相乗りです

相乗りをお願いするときは事前に確認をさせていただきます。あくまで「利用者同士の同意が得られた場合」が前提です。

▶相乗りでも料金は変わりません

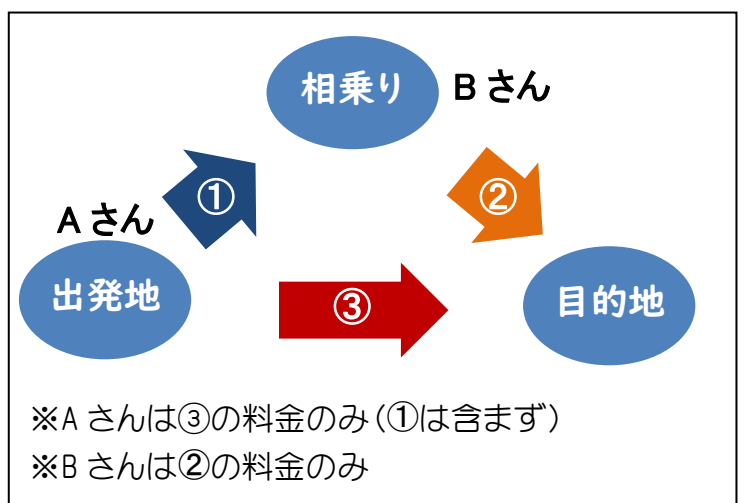
料金体制は従来通りそれぞれの出発地から目的地までの距離での料金となりますので、相乗りにより回り道した分の料金は発生しません。

(※右図参照)

▶住民の足として継続的な運営が必要

外出支援制度は地域の方々の交通手段の一つとして必要不可欠になってきています。近年利用者の登録も増えており京丹波町だけでなく、全国的にどの事業所も運転員の確保や、時間調整に苦慮しているのが現状です。

それでも地域住民の足として、今後も継続的な運営が求められる中、地域の皆さん・事業者・行政が協議しながら持続可能な方法を検討していかなければなりません。クローバー・サービスも利用される方にとってより良い制度になるよう、行政にも働きかけをしていきますので、ご理解、ご協力のほどお願いいたします。



NPO 法人クローバー・サービス

京都府船井郡京丹波町橋爪楡山 53
 ■TEL (0771)88-5014 / ■FAX (0771)88-5017
 ■e-mail: info@cloverservice.or.jp
 ■ホームページ http://www.cloverservice.or.jp

クローバー・デイサービスセンター

京都府船井郡京丹波町橋爪楡山 41-1
 ■TEL & FAX (0771)88-0138
 ■e-mail: day@cloverservice.or.jp



facebook QR

映画・本・歴史のこと

〈第9回〉 松本清張と戦後

有田誠(ありたまこと)京丹波町在住の映画愛好家。

写真は、中国黒龍江省平房の関東軍 731 部隊跡。2千体とも言われる生体実験の死体を焼却処分した煙突。2008 年筆者撮影。

任中の夫は、かつて立川米軍基地周辺を担当する風紀係の巡査だった。

売春婦たち(「パンパン」はもはや死語)を取り締まる中で、能登出身の久子(有馬稲子)と知りあう。彼女の故郷高浜(現志賀原発の近く)で、憲一は別名で夫婦として、二重生活を送っていた。

通じるものがある。青木富美子の労作『731』(二〇〇五新潮文庫)によれば、満州で関東軍の細菌戦部隊を率いた石井四郎は、GHQに取り入り戦犯を免れた。新宿若松町の自宅を、米軍専用の「パンパン宿」にしたことを、複数の地元住民から取材している。

『ゼロの焦点』の原作では、憲一は敗戦後二年間、中国に抑留されたとある。

上野駅

鉄道駅は、ほとんどが通過式である。しかし、上野駅は頭端式である。一九三二年(満州帝国建国)に竣工した。頭端式と言うのは、

満鉄工事課の太田宗太郎が設計した大連駅と同じく、乗車降車を一階と二階に分けた構造。盧溝橋事件の一九三七年に大連駅は開業している。

(加藤嘉)夫人となり、今や金沢の名士である。

長崎駅や山陰線京都駅ホームのように、線路が行き止まりになる。東北本線と常磐線の、いかにも終着駅の雰囲気漂う。

売春婦の過去が明るみに

二年(満州帝国建国)に竣工した。頭端式と言うのは、

次々と殺人を犯していく。禎子が調べるうちに、こ

長崎駅や山陰線京都駅ホームのように、線路が行き止まりになる。東北本線と常

うした経緯が浮かびあがる。

磐線の、いかにも終着駅の雰囲気漂う。

佐知子は、『砂の器』(一九六二)の作曲家和賀英良に

霧囲気が漂う。

『ゼロの焦点』(一九六一)

二十一時十五分発急行

川又昂の白黒撮影がすばらしい。

「北陸」で、夫(南原宏二)憲

脚本は橋本忍と山田洋

一を妻(久我美子)の禎子が

次。これだけ込み入った清張の原作(一九五八)を九十

分映画は始まる。夜が明け、

五分にまとめる手腕は、まさにプロの仕事である。

冬の日本海沿いを走る列車にタイトルがかぶさる。

広告会社金沢支店に赴



『ゼロの焦点』の久我美子(1931～)



野村芳太郎(1919~2005)

七十年代には『男はつらいよ』の添え物で、コント55号やハナ肇の喜劇をこなしながら、『砂の器』(一九七四)も撮っていたのである。当時は同姓同名の監督

がいると思っていた。「ボクスの脳ミソには仕切りがあるから」とは本人の言。三人の女優



高千穂ひづる(1930~2016)

床の間で壁に向かって正座して息絶えるのが、何とも滑稽で哀れであった。殺され方のうまい役者であった。

れてきた女の人生を、交互に語った作品。後者は、福島県の浜通り(福島第一原発の辺り)から、出稼ぎで上京し、ホームレスとなった男の生涯をたどる。過去を次々と消し去る上っ面だけでペラペラの日本で、上野駅周辺は今なお、時間が重層的に蠢いている。

野村芳太郎

祖父芳園は、京都寺町三条で芝居の背景や看板を作り、都をどりの背景を独占的に制作していた。江戸の浮世絵師歌川国芳の流れをくむ。芳太郎の芳の字の所以である。大船撮影所の助監督部に入るが、ビルマ戦争に補充将校として送られる。インパール作戦を奇跡的に生き残った。どういう映画を撮る監督かと問われても、ジャンルかまわず、水準以上に仕上げられる。



有馬稲子(1932~)

有馬稲子は大坂池田の生まれ。父がコミュニストで官憲に追われ、府内を逃げまわっていた。四歳のとき、祖母が見かねて、朝鮮釜山の父の実姉夫婦に預けられ、そのまま養女となった。釜山高等女学校に入るが、敗戦となる。漁船で密航して、日本に引揚げる。養母は藤間流の名取で、かつて宝塚に所属していた。芸名は有馬稲子だった。本人は望まないまま、歌劇団

の方針で二代目有馬稲子となる。なお、とら屋の三代目おいちちゃん、下條正己が生まれるも育ちも釜山で、鉄工所の家業に従事していた。久我美子は、宮中で琴を司る久我家四十二代目当主を父にもつ。斜陽貴族として、就職するなら好きな道をと、映画界に入る。三船敏郎は同期。ゴジラを退治する芦沢博士を演じた平田昭彦が夫。平田は朝鮮京城(現ソウル)の生まれ、東大卒。五十七歳で早逝した。高千穂ひづるは、神戸生

まれて、父がプロ野球の名審判、二出川延明。国産初のテレビ映画『月光仮面』の大瀬康一とは夫婦で、二人は七十年以降、芸能プロ、ビル経営、和風ラーめんチェーンなど、実業家に転身した。最後に、憲一の死を不審に思い、佐知子を追いつめる兄役の西村晃もうますぎ。青酸カリ入りのウイスキーで殺される場面、火鉢の灰が舞い上がって悶絶死する。『新仁義なき戦い組長の首』(一九七五深作欣二)では、山崎努に射殺される。

或る日の私

天国にめされし君に 会いたくて

夢に見る やさしい笑顔

そのままに

さびしいと 云うまい

私ふるい立つ

私には 出来ない事の

多くなり

唯ひたすらに 生きるのみ

何となく 倅せの日々 続くこと

まわりの支え ありてこそ

まなうらに 君のゆくへを 追っている

私には まだまだ遠い その道はるか

佳織



←10月10日(火)

雨上がりの午後、クローバー事務所に二重の虹がかかっていました。

↑デイサービスの利用者が先に逝かれたご家族のことを思い、詩を書かれました。

パソコン作業になれ、手紙を書く習慣も減ってきた今日、詩を読み、筆をとることの大切さを感じました。

編集後記

「金木屋(きんもくせい)が香り出したら、松茸を見に行け」昔、祖母からそんな地域の慣わしを教えてもらいました ▼今年には彼岸を過ぎててもなかなか金木屋が咲かないなー。と思っていたのですが、十月中旬になってようやく、その花を咲かせました ▼丹波は昔から松茸の産地として全国的にも有名ですが、ここ数十年出荷量が激減してきています 私が住む区ではその季節になれば地域の山を入札にかけられるのですが、ここ数年誰からも入札が入らず、かつての賑わいは微塵もありません ▼私の子供時代は地域の方から小学校に「子供たちに食べさせてあげて」と寄付があり、学校の給食で松茸ご飯が出たことがありました。都会に住む友人にその話をすると、「これまで松茸なんか食べたこともないのに、なんて贅沢な!」と言われたことがあります。傘が開いたら価値がないからと「蹴とばして歩いた」そんな話もよく聞きました ▼よく「香り松茸、味しめじ」と言われます。ただ中国産、韓国産の松茸などは香りが薄いとそこまでの価値はありません。一本数十万の値が付くこともある丹波松茸、今後口にすることがあるでしょうか?

〈編集子〉

賛助会員

- (有)あさひ堂
- (株)一谷住宅
- インザ・ルーム亀岡店
- 上段税理士事務所
- (株)高木設備
- たにやま鍼灸接骨院
- 田端輪業
- (有)土佐寿司
- (有)永田損害保険事務所
- (有)西村テレビ
- 三木歯科医院
- みづほ電工
- 理容ちどり

(五十音順)